

平成17年 8月 19日

記者クラブ各位

教井産業株式会社

新潟県内初の「定置用燃料電池大規模実証事業」へ参画

当社(本社:新潟市)は、新日本石油株式会社が実施する財団法人新エネルギー財団の助成事業「定置用燃料電池大規模実証事業」に協力し、世界初のLPガスを用いた家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」の設置場所提供と運転データの提供を行います。

同システムは、8月19日に当社社員宅(新潟県新潟市)に設置され、運転を開始しました。なお、新潟県内での「定置用燃料電池大規模実証事業」での同システム導入、稼動は初めてとなります。

燃料電池は、二酸化炭素の排出量を大幅に削減し、コージェネレーションによるエネルギー総合効率が高いなど環境特性に優れており、次世代のクリーンエネルギーの重要な担い手です。

当社は、本実証事業への参画を通じて、燃料電池システムへの理解を深めるとともに、今後とも環境と調和のとれた新エネルギーシステムの啓発・普及を進めるべく、引き続き努力してまいります。

1. ENEOS ECO LP-1 について

家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」は、LPガスから水素を取り出し酸素と反応させ電気を作ると同時に、その過程で発生した熱を給湯などに利用するコージェネレーションシステムです。エネルギー問題や環境問題への関心が高まるなか、クリーンエネルギーの主役として期待がかかるこのシステムは総合エネルギー効率が76%と高く、また、温暖化ガスの大半をしめる二酸化炭素(CO₂)の排出量を大幅に削減することに加え、大気汚染や酸性雨の原因となる硫黄酸化物(SO_x)や窒素酸化物(NO_x)をほとんど排出しない「環境対応型エネルギーシステム」であります。

2. 定置用燃料電池大規模実証事業について

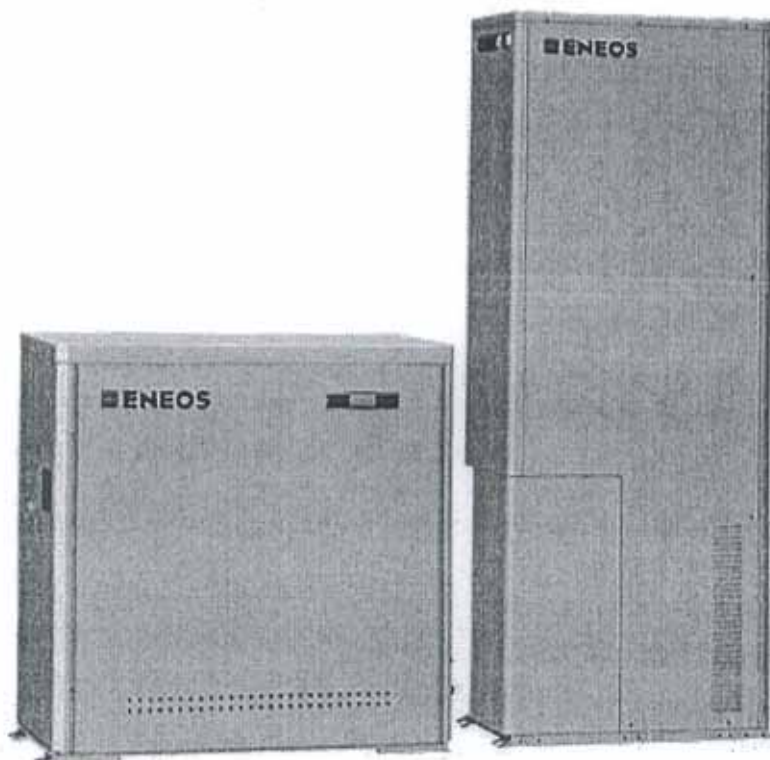
「定置用燃料電池大規模実証事業」は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成金を受け、平成17年度より実施する事業であります。本実証事業は、定置用燃料電池システムを大規模に設置し、一般家庭等での実際の使用状況における実測データを取得することにより、将来の燃料電池の普及に資することを目的とします。

●機器概要

製品名「ENEOS ECO LP-1」

- | | |
|-------------|---|
| (1) 定格発電容量 | 750W |
| (2) エネルギー効率 | 発電効率 34%(LHV ^{*1})
熱回収効率 42%(LHV ^{*1}) |
| (3) 貯湯槽容量 | 200 リットル |
| (4) 燃料 | LP ガス |

*1 LHV:Lower Heating Value の略称。低位発熱量。燃料の持つ発熱量から、燃料の燃焼によって生じる水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた発熱量のこと



左： 発電ユニット 幅 1.0m 高 1.0m 奥行 0.45m

右： 貯湯ユニット 幅 0.75m 高 1.9m 奥行 0.44m

●本件についての問合せ窓口

敦井産業株式会社 第一営業部燃料課 山崎 内山

TEL 025-229-8010

FAX 025-229-8011

以上